

日産財団ニュースレター (第12号)

2015年5月発行

はじめに

日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しています。それぞれの学校の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。第12号と13号をお送りいたします。

■ 栃木県 鹿沼市立さつきが丘小学校



外部講師を招いての出張事業



「夢の森再生活動」総合的な時間の学習を通して環境について学び、表土の掘り起こしや客土を実施して、森の斜面の整備を進めました



夢の森再生プロジェクトの実行委員会

～5・6年生を中心に活動のアイデアを出し合いました～



■ 神奈川県 横浜市小学校理科研究会



横浜市小理研の夏季ゼミナール研修会でのワークショップ
食塩の水溶液の温度不依存性を示す教材、実際の火山灰を使った関東ローム層の地層説明教材、風船の中の粒子の種類で形と重さに関係がないことを体感させる教材など多数教材を展示



■ 神奈川県 横浜市立井土ヶ谷小学校



水を加熱したときに出る「出てきた泡の正体は？」の4年生理科の授業研究会

加熱して出た泡をビニール袋で捕集



絵や図や身振りを交えながら自分の考えを発表



■ 栃木県 鹿沼市立東中学校

環境に視点をあてた学び合いのツールとして、タブレットを利用して取り組んだ



班の結果をタブレットに入力し大型画面で発表し、全体で共有化



運動エネルギーに関わる結果をタブレットに入力し、グラフ化し考察する場面

科学部が鹿沼市内の水力発電発表会に参加、その後、報告書にまとめた

■ 神奈川県 座間市立ひばりが丘小学校



言語活動の充実を図る授業とするために、横浜国立大学の高木展郎先生指導の校内研究研修会。児童間交流での発表に多くの時間、児童同士の交流がしやすいようにと、どの教室も黒板に対してコの字型に配置。異なる学年のクラスが参観などが特徴的。